

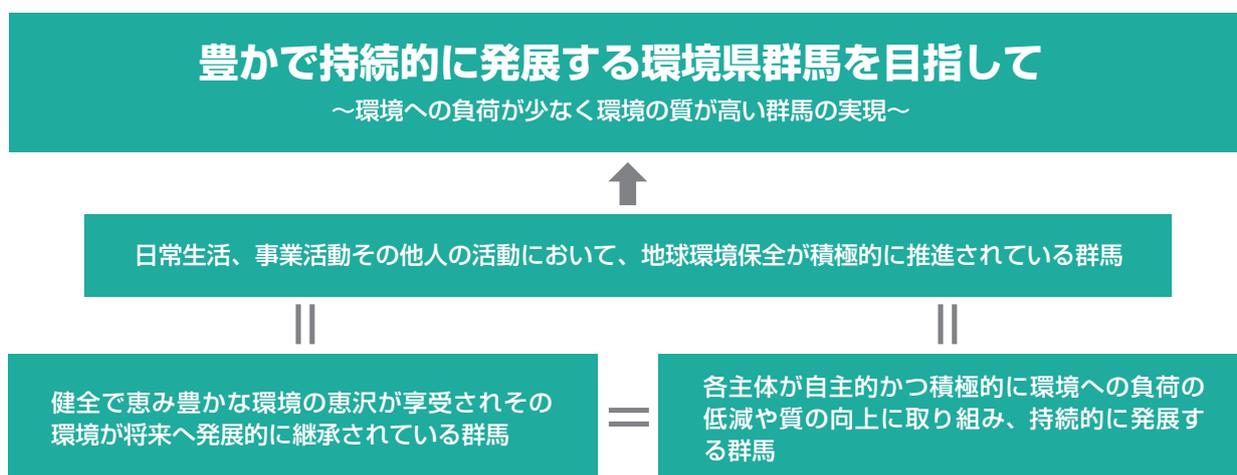
第3章 計画の基本的目標

第1節 目指すべき群馬県の環境の姿（基本目標）

「豊かで持続的に発展する環境県群馬を目指して～環境への負荷が少なく環境の質が高い群馬の実現～」をメインテーマとする本県の環境行政を推進するためには、これを達成するための具体的な目標を明確にする必要があります。

社会経済情勢が大きく変化している時代にあっても、本県の良好な環境の保全と創造の実現を目指し、メインテーマの実現に向かって施策展開していくため、「群馬県環境基本条例」に規定されている3つの基本理念の達成を本計画の基本目標とします。そして、この基本目標達成の向こう側に、本計画が目指すメインテーマが「群馬県の環境の姿」として浮かび上がってきます。

そこで、21世紀前半の中頃(概ね2030年)を展望した県の環境の姿(メインテーマとそれを達成するための基本目標)は、次のように位置づけられます。



① 健全で恵み豊かな環境の恵沢が享受され、その環境が将来へ発展的に継承されている群馬

これまで、群馬県で暮らし、社会経済活動を営む人びとは、本県の豊かな自然環境を享受しながら良好な生活環境を維持し、健康で文化的な生活の確保を図ってきました。

しかし、豊かな自然環境や良好な生活環境は、私たちが能動的に関与していかなければ、将来にわたってもこれが維持され、さらに向上していけるものではありません。

このため、これからも群馬県は、県民一人ひとりが能動的に身近な環境に関与しながら、豊かな自然環境や良好な生活環境を持続的に維持向上させ、将来の世代に引き継ぐ社会の形成を目指します。

② 各主体が自主的かつ積極的に環境への負荷の低減や質の向上に取り組み、持続的に発展する群馬

これまで群馬県では、自然環境が豊かで、生物多様性が維持された県土の上で、人々の暮らしや社会経済活動が営まれ、現在までの発展を遂げてきました。

しかし、これまでの発展は、大量生産、大量消費、大量廃棄といった経済の拡大に重点がおかれていました。

このため、これからの群馬県は、県民や事業者など全ての主体が環境に配慮した活動を主体的かつ積極的に推進し、これまでの環境に負荷を与えるスタイルから、資源のいわゆる3R（リデュース、リユース、リサイクル）を進め、環境の質が現状よりも向上した持続可能な社会の形成を目指します。

③ 日常生活、事業活動その他の活動において、地球環境保全が積極的に推進されている群馬

これまで私たちの生活や社会経済活動は、ともすれば豊かさや利便性を追求するあまり、過度のエネルギーの消費やごみの排出、温室効果ガスの放出など、地球全体に負荷をかけてきました。

また、地球温暖化に起因する気候の変動は、局地的な豪雨や豪雪、夏の猛暑等を引き起こし、私たちの生活だけでなく生物の生息や生育にも大きな影響を与えています。

このため、これからの群馬県は、そこで暮らし活動する人びとが、積極的に地球環境を思い、負荷の少ないライフスタイルや社会経済活動を展開する社会の形成を目指します。